

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 情報システム整備費（森林文化アカデミー）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林文化アカデミー 総務課 電話番号：0575-35-2525

E-mail：c21907@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,323 千円 (前年度予算額： 9,049 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,049	0	0	4,382	0	0	0	0	4,667
要求額	23,323	0	0	3,774	0	0	0	0	19,549
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

森林文化アカデミーの学内情報ネットワークシステムは、授業・教育研究及び事務事業で使用している。

森林文化アカデミーの情報システムに係るリース契約（H30.6月～R4.5月）が満了するが、現行のパソコンでは、最新の高性能なソフトウェアを導入できない。新型コロナにより急激に変化した環境の中で、より高度な技術を習得することができる授業を行うため、高スペックのパソコンを導入し、学内ネットワーク環境の更新整備をする必要がある。

(2) 事業内容

【情報システム維持管理費 3,774千円】

(1) インターネット接続費用

- インターネット接続（プロバイダー契約）
- ホスティングサービス

通信事業者が大容量のシステムを自社内に構築し、その領域をユーザーにサーバーとして貸し出すサービス

(2) 運用支援業務

- 本学の情報システムを安定して運用するため、ネットワーク障害発生時の障害切り分け（障害箇所の特定）等対応作業及びシステム運用にかかる提案、メンテナンスを行う。

(3) ライセンス等更新業務

「図書支援システム」、「事務支援システム」などの各種システム及びウィルス対策ソフト、無線AP管理ツール等ソフトウェアの保守サポート業務を行う。

【情報システム整備費、情報機器等更新事業費 7,977千円】

- 更新に伴う機器設定、システム及びネットワーク構築等の初期費用や、ファイバーサーバ、スイッチングハブ、プリンター等のリース費用
 - ※債務負担行為： 416千円 (R4.4月～R4.5月)
 - ※長期継続契約：17,723千円 (R4.6月～R9.5月)
- 本学の教員用パソコン (3/17台) の更新費用

【情報システム整備費 (コロナ事業分) 11,572千円】

- スマート林業に対応する高スペックなPCへの更新費用

(3) 県負担・補助率の考え方

森林文化アカデミー運営にかかわることのため、県において全額負担することが妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	45	OSグレードアップ用消耗品の購入
修繕料	72	保守対象外端末機器等修繕料
役員費	716	インターネット接続費用
委託料	7,085	機器設定・ネットワーク構築費等、運用支援業務委託費
使用料及び賃借料	2,781	サーバー、スイッチングハブ、プリンター、端末機器等リース費用
備品購入費	12,624	授業用・管理用・教員用PC等の更新費用
合計	23,323	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

施設整備として、今後も必要な維持管理をしていく。
令和4年6月から令和9年5月までの長期継続契約

(2) 事業主体及びその妥当性

森林文化アカデミー運営にて必要であるため県において整備が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・一般社会で運用されていると同程度の性能や安定性と、セキュリティ対策を十全に講じた学内ネットワークを維持管理する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

・ネットワーク維持管理を目的とした事業のため、その効果を適切に評価できる指標が存在しない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	ネットワークを適正に維持管理し、事務的業務や教育に支障が生じることはなかった。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	・教育機関として、学内情報ネットワークは必要
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	授業に利用するとともに、学内外の情報収集、学生への連絡手段等に利用している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	ネットワーク機器更新時には、より効率的なネットワークを検討し、適切に機器更新している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 学校開設時(H13年度)に敷設した有線ネットワークのため、拡張や変更が困難。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も必要な設備であるため、適正な維持管理に努める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果など	【〇〇課】